



ウズベキスタンの投資環境・ビジネス概況／ ウズベキスタン日本人材開発センター（UJC）のご紹介

中央アジア3カ国紹介セミナー



本日の内容

- ① ウズベキスタンのビジネス・投資環境と日本企業の進出動向
- ② ウズベキスタン日本人材開発センター（UJC）について

岩崎 寛央（Hiroo Iwazaki）：ウズベキスタン日本人材開発センター（UJC）共同所長

Email: iwazaki@ujc.uz

Mobile: +998-93-100-1103（ウズベキスタン）



経歴

2023 – 現在：ウズベキスタン日本人材開発センター（UJC）共同所長
2021 – 2023：（独）国際協力機構（在ウズベキスタン）投資促進アドバイザー、
ウズベキスタン投資産業貿易省
2017 – 2020：（独）国際協力機構（在フランス）アドバイザー、
OECD-DAC担当（開発金融）
2014 – 2017：（独）国際協力機構（在ネパール）外国投資アドバイザー、ネパール投資庁
2011 – 2014：三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、投資銀行本部、
M&Aアドバイザーグループ
2006 – 2008：UBS証券株式会社、投資銀行本部、株式資本市場部

JICA Magazine 2024年10月号 掲載記事

「市場経済への移行のなか
急成長するウズベキスタン」



豊富な観光資源

サマルカンド



ブハラ



ヒヴァ



首都は都市化が進む

タシケント



↑
(Tashkent City: 首都中心部に位置するビジネス街、ショッピングモール、ホテル、公園の複合施設)

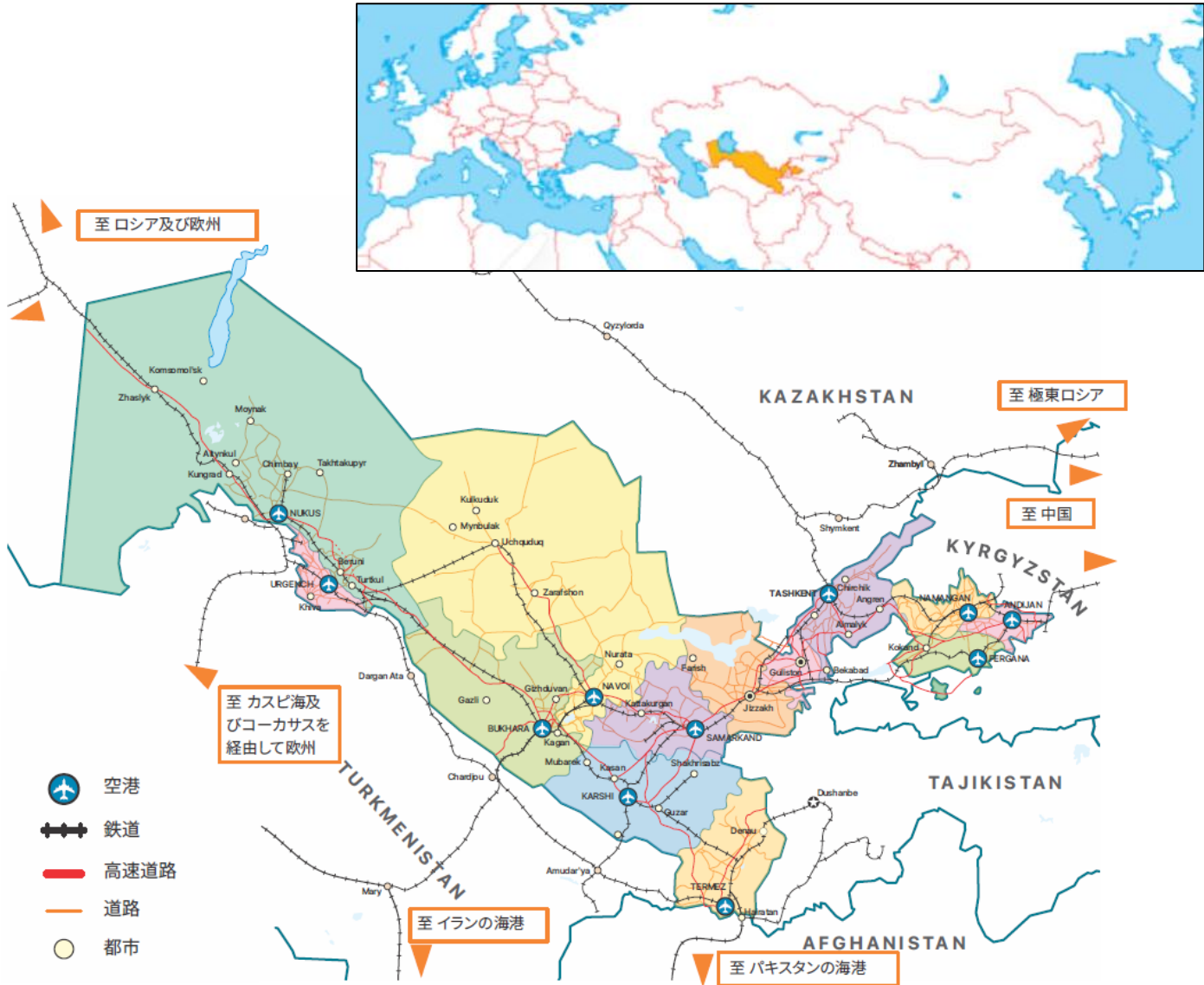
←
(Seul Mun: 都市部に流れる川沿いに建設されたショッピング・レストラン街)

Session 1

ウズベキスタンのビジネス・投資環境と日本企業の進出動向

ウズベキスタンの概要

正式名称	宗教
ウズベキスタン共和国	イスラム教:88% (主にスンニ派)、 東方正教:9%、その他:3%
世界地域	地理
中央アジア	二重内陸国 50%が砂漠、20%が山地
首都	通貨
タシケント市	ウズベキスタン・スム (1円 = 82.5スム、2025年1月時点)
人口	民族
約3,770万人	ウズベク:83.8%、タジク:4.8%、カザフ:2.5%、 ロシア:2.3%、カラカルパック:2.2%、タター ル:1.5%、その他:4.4% (2017年)
面積	気候
448,900 km ²	大陸性気候 - 年間降水量:243 mm、気温: (最高) 42度~47度、(最低)-11度~-2度
高度	主な河川
最低:サリカニッシュ・クリ (5 m) 最高:ベシュタル・ピーク (4,299 m)	アムダリア川、シルダリア川、ザラフシャン川、 スルハンダリヤ川、チルチク川
識字率	平均寿命
100% (2019年)	73.4年 (2020年)
言語	政府形態
ウズベク語 (公用語)、ロシア語 (広く使用されて いる)、英語 (大都市圏での使用が増加)	大統領制による立憲共和国。大統領が国家元 首であり、首相が内閣の長。



ビジネス・投資の検討におけるウズベキスタンの5つの強み

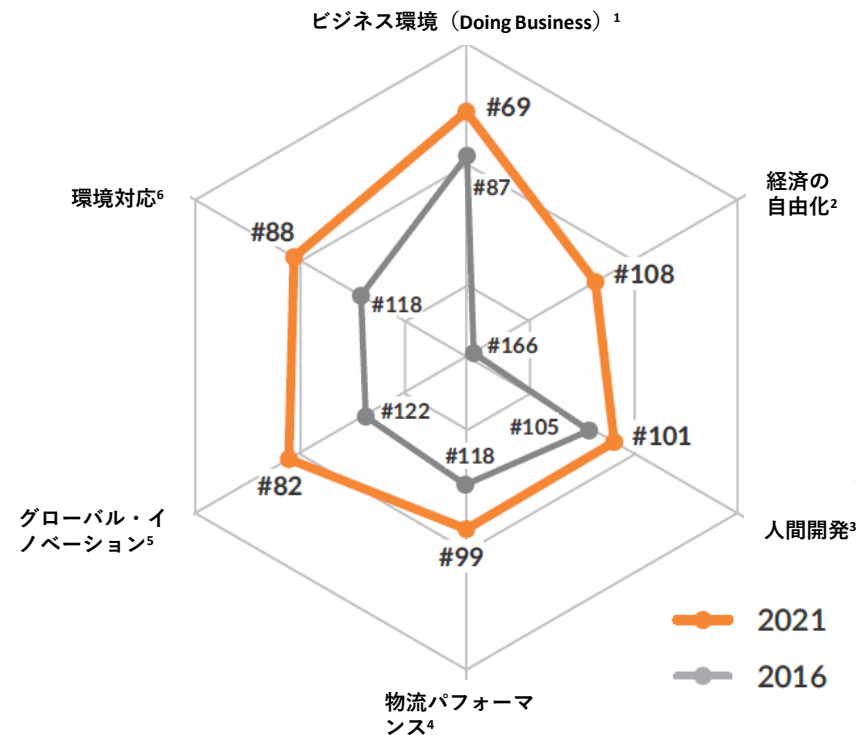


1 経済改革及び民営化の進展

2016年末にミルジヨエフ大統領が就任して以来、ウズベキスタンの経済改革は大きく進展し、投資・ビジネス環境に関する国際評価が上昇。2030年までに一人当たりのGDPで4,000ドル（2023年時点で2,789ドル）に到達することを目指している。

- 大統領1期目に策定された5カ年開発計画（2017～2021年）の主な成果：
 - ✓ 外国為替市場の自由化と為替レートの統一
 - ✓ 税制・関税制度の改革
 - ✓ ビジネス許認可、ビザ等の簡素化
 - ✓ 投資法の策定（2020年）
 - ✓ 金融・銀行分野の改革と国有企業の民営化
 - ✓ 官民連携（PPP）の構築
 - ✓ 近隣諸国との協調的協力体制の強化
- 大統領選挙2期目（2021年10月～）の5カ年開発計画（2022～2026年）及びUzbekistan Strategy 2030の目標：
 - ✓ 2,500億ドル（約40兆円）の投資誘致（積極的な外国投資の誘致を目指す）
 - ✓ 5～6%を目標にしたインフレの抑制（2024年は約10%）
 - ✓ 経済活動のデジタル化とグリーン経済への移行
 - ✓ 広範な民営化プログラムの実施と国有企業の改革（大手国有企業の株式上場を含む）
 - ✓ 貿易の自由化（世界貿易機関（WTO）加盟の検討）

ウズベキスタンの主要国際ランキングの推移
（2016年と2021年の比較）



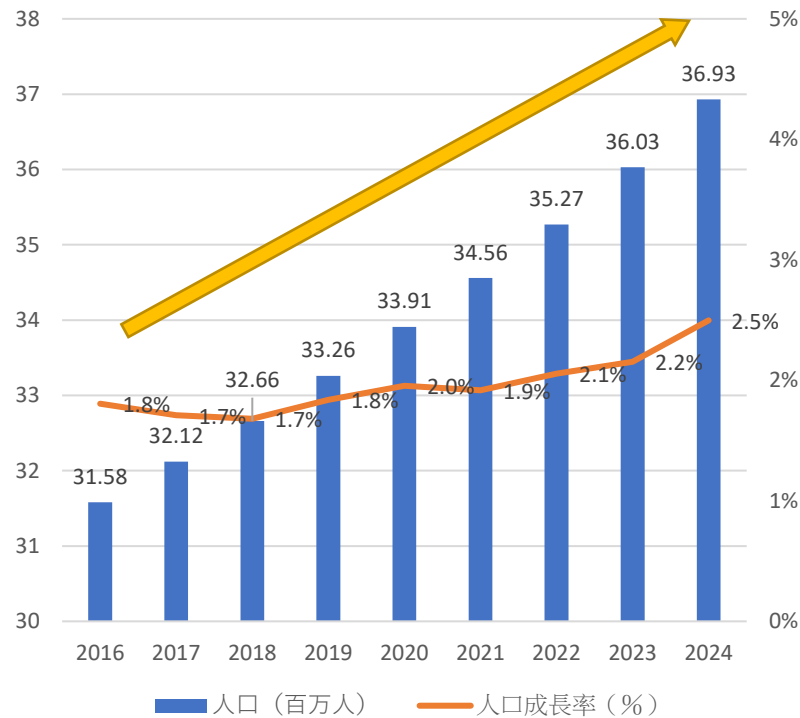
注

1. 世界銀行（2016／2020）
2. ヘリテージ財団（2016／2021）
3. 国連開発計画（2016／2021）
4. 世界銀行（2016／2018）
5. 世界知的所有権機関（2016／2020）
6. イェール大学（2016／2020）

2 3,770万人の国内市場とCIS諸国へのアクセス

- ウズベキスタンは、CISで3番目の規模の人口を有し、CIS人口約3億人の入口となる。
(CIS圏内の自由貿易協定及び無査証協定の適用)

ウズベキスタンの人口と人口成長率



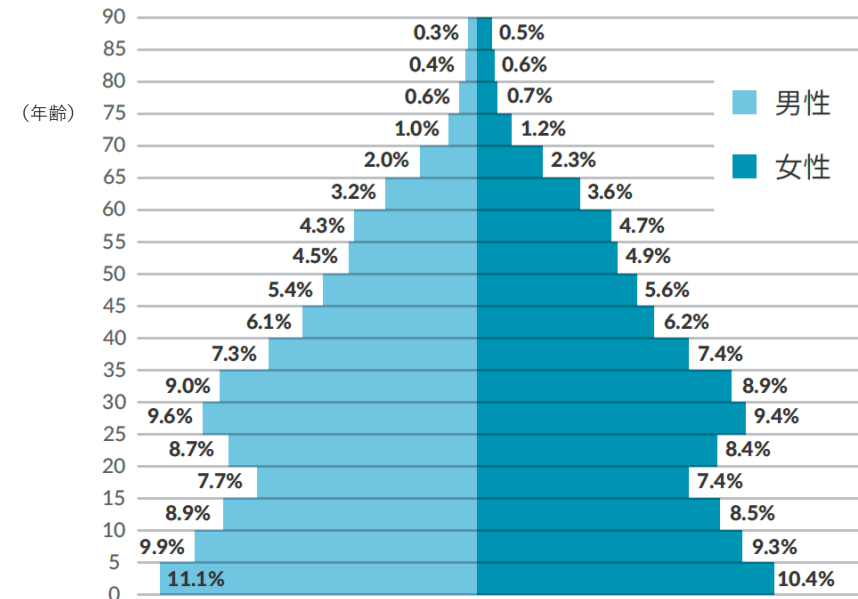
出典：IMF
注：

1. CIS自由貿易協定及び自由貿易体制国に対する輸入関税免除（ウズベキスタン、ロシア、ウクライナ、ジョージア、アルメニア、アゼルバイジャン、ベラルーシ、カザフスタン、キルギス、モルドバ、タジキスタン）。CIS無査証協定ではキルギスとタジキスタンは対象外。

3 若くて教育水準の高い労働力

- 生産年齢人口（15～65歳）が全体の6割超。平均年齢は29歳。
- ほぼ全ての国民が義務教育（小中高等学校）。
- 2018年から2023年で高等教育（大学・大学院）の就学率は9%から41%へ上昇。外国教育機関を含む、高等教育機関の数も増加している。

ウズベキスタンの人口分布



出典：ウズベキスタン国家統計局（SCS）

4 豊富で多様な天然資源

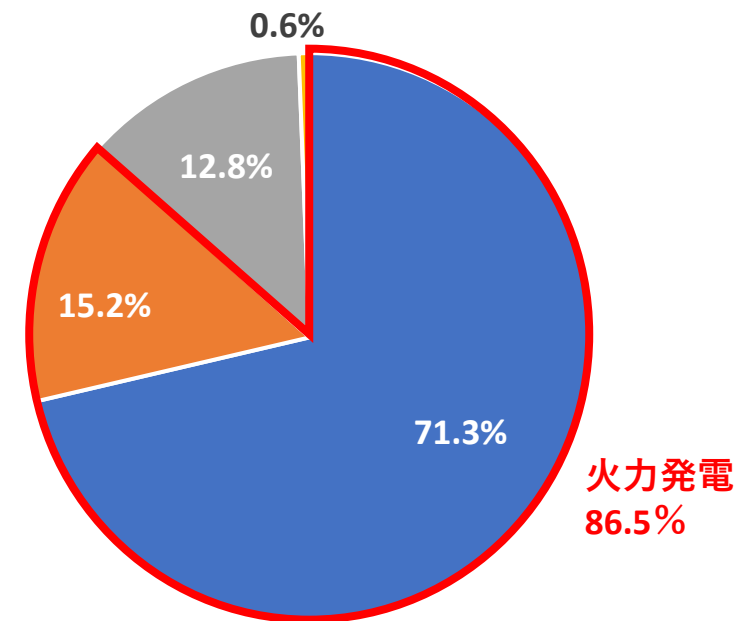
- ・ 天然ガスなどの化石燃料が豊富であることから、火力発電がウズベキスタンにおける発電の柱
- ・ 他方、ウ政府は2030年までに再エネの電力構成を50%にする目標を掲げており、PPPを通じた再エネ投資を誘致。とりわけサウジアラビアやUAEなどの中東企業からの投資が顕著。

ウズベキスタンの主要地下鉱物

	埋蔵量世界ランキング
天然ガス	10位
金	15位
銅	10位
ウラン	16位
その他（石油、銀、亜鉛、タングステン等）	

出典：Uzbekistan Investment Promotion Agency (<https://dev-portal.miiit.uz/en/why-uzbekistan/natural-resources>)

ウズベキスタンの発電電源構成（2021年）



■ ガス ■ 石炭 ■ 水力 ■ 太陽光

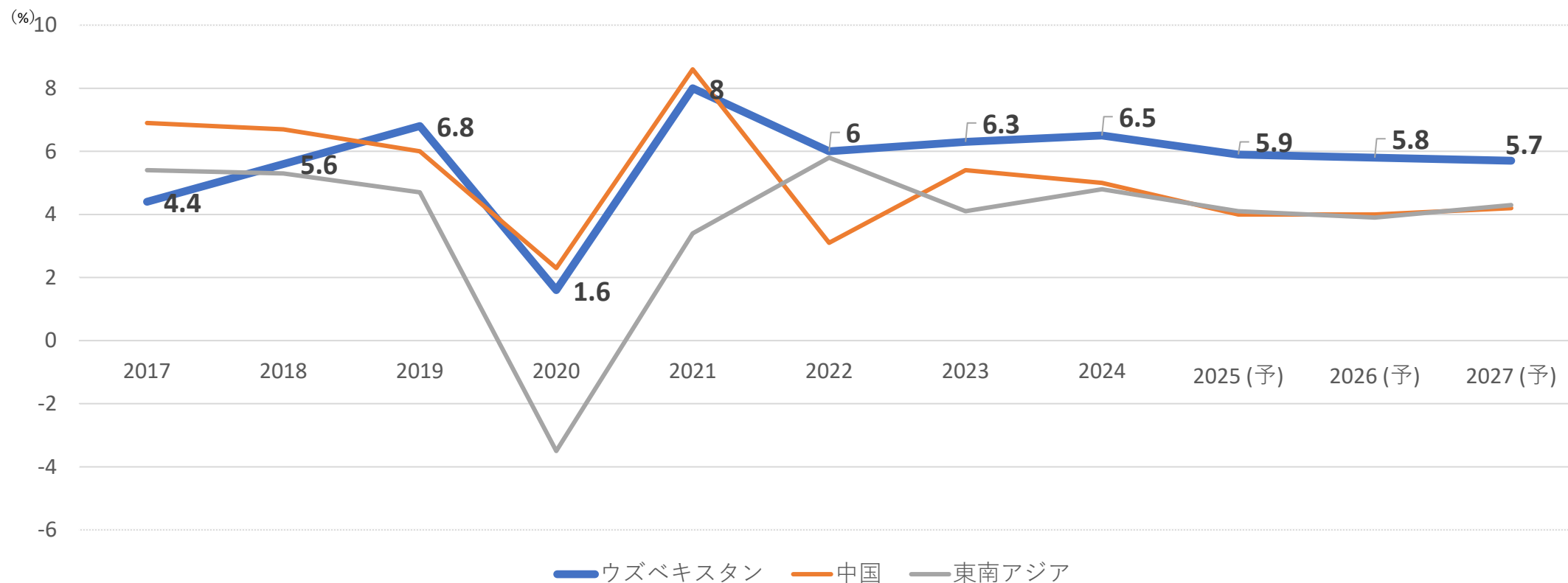
出典：ウズベキスタンエネルギー省

5 経済成長とマクロ経済の安定性

ウズベキスタンのGDP成長率はコロナ禍の2020年でもプラスを維持しており、今後の成長率も中国や東南アジアを上回る水準が見込まれる。

ウズベキスタンの実質GDP成長率

(2017-2027 (予) : 中国・東南アジアとの比較)



日系企業の進出状況

- 2024年時点で中小企業を中心に日系企業54社が進出（出所：外務省）しており、近年増加傾向（業種は、IT、ホテル、レストラン、人材派遣、コンサルティング、投資・不動産、教育、製造業、医療、等、多岐に亘る）
- 大手総合商社（三菱、三井、住友、伊藤忠、丸紅、豊田通商、双日）を中心に駐在員事務所も設立されている
- 主な日系企業の進出事例は以下の通り
 - ✓ 2007年：伊藤忠商事（株）、いすゞ自動車（株）によるサマルカンド・オートモビル・ファクトリー社（小型バス製造）への出資
 - ✓ 2021年：双日（株）、九州電力を含むコンソーシアム（仏、カタール企業との連合）による官民連携（PPP）を活用したガス火力発電所建設案件（1,600MW）の落札
 - ✓ 2022年：（株）エイチ・アイ・エス系列のホテル開業
 - ✓ 2024年：IT Park Uzbekistanへの日系ITアウトソース企業の複数社進出



HIS系ホテル「ホテルインスピラ-S タシケント」
（2022年3月開業）

写真：各社ウェブサイト



日本食レストラン「ふる里」
（2022年6月開業）



IT Park Uzbekistan

Session 2

ウズベキスタン日本人材開発センター（UJC）のご紹介

ウズベキスタン日本センター（UJC）のご紹介

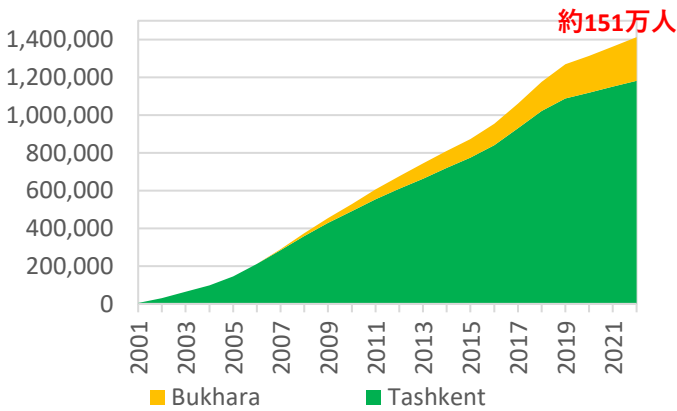


- ウズベキスタン日本センター（UJC）は、ウズベキスタンの大統領令により2001年1月に非営利組織として設立。2007年にはUJCブハラ分室を開設 → UJCタシケント（20周年）、ブハラ分室（15周年）
- 国際協力機構（JICA）とウズベキスタン投資産業貿易省の共同運営によるプロジェクト
- 主な事業は、1. ビジネス研修、2. 日本語教育、3. 文化交流。2012年より、国際交流基金と日本語教育及び文化交流の分野で協力

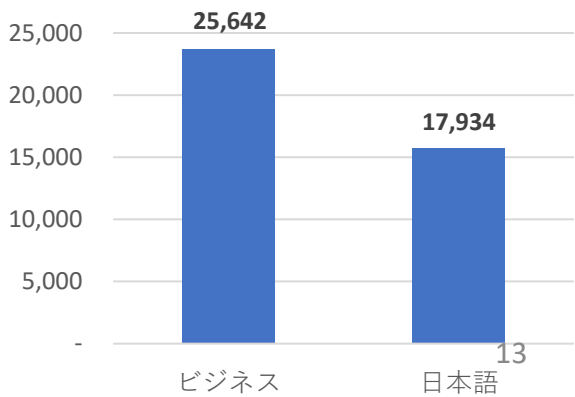
UJCが提供しているビジネスコースの概要

	対象者	卒業生数 (2024年末)	概要
経営塾	- SMEの創業者やCEO - PMP卒業生	74	2021年より開講。毎年20名が参加。 - 日本人講師による5科目（計5か月間）の講義の後、約2週間の本邦研修を実施（日系企業視察やビジネス交流会への参加）
PMP Professional Management Program - Mini-MBA	- SMEの創業者やCEO - 起業家 - 企業の管理職	2,492	- UJC開設時より提供している、最も知名度の高いコース - ミニMBAに準ずる科目（計4か月間）を日本人及び現地人講師が提供 - 毎年約180名が受講（年3セメスター。昼・夜の部で各々約30名が受講）
専門コース／ 企業研修・コンサルテーション	- SMEの創業者及びCEO - 起業家 - 企業の管理職 - 研修を要する民間企業や国際機関のプロジェクト等	5,896	- 専門コース：1週間の短期ビジネスコースを約25科目提供 - 企業研修・コンサルテーション：国内民間企業や政府系企業のニーズに応じた研修の実施。国際機関によるビジネス研修の受託実施
スタートアップ・プログラム	若手起業家	12	2021年より開講。若手起業家・学生向けのスタートアップ基礎研修

UJC訪問者（2024年末時点）

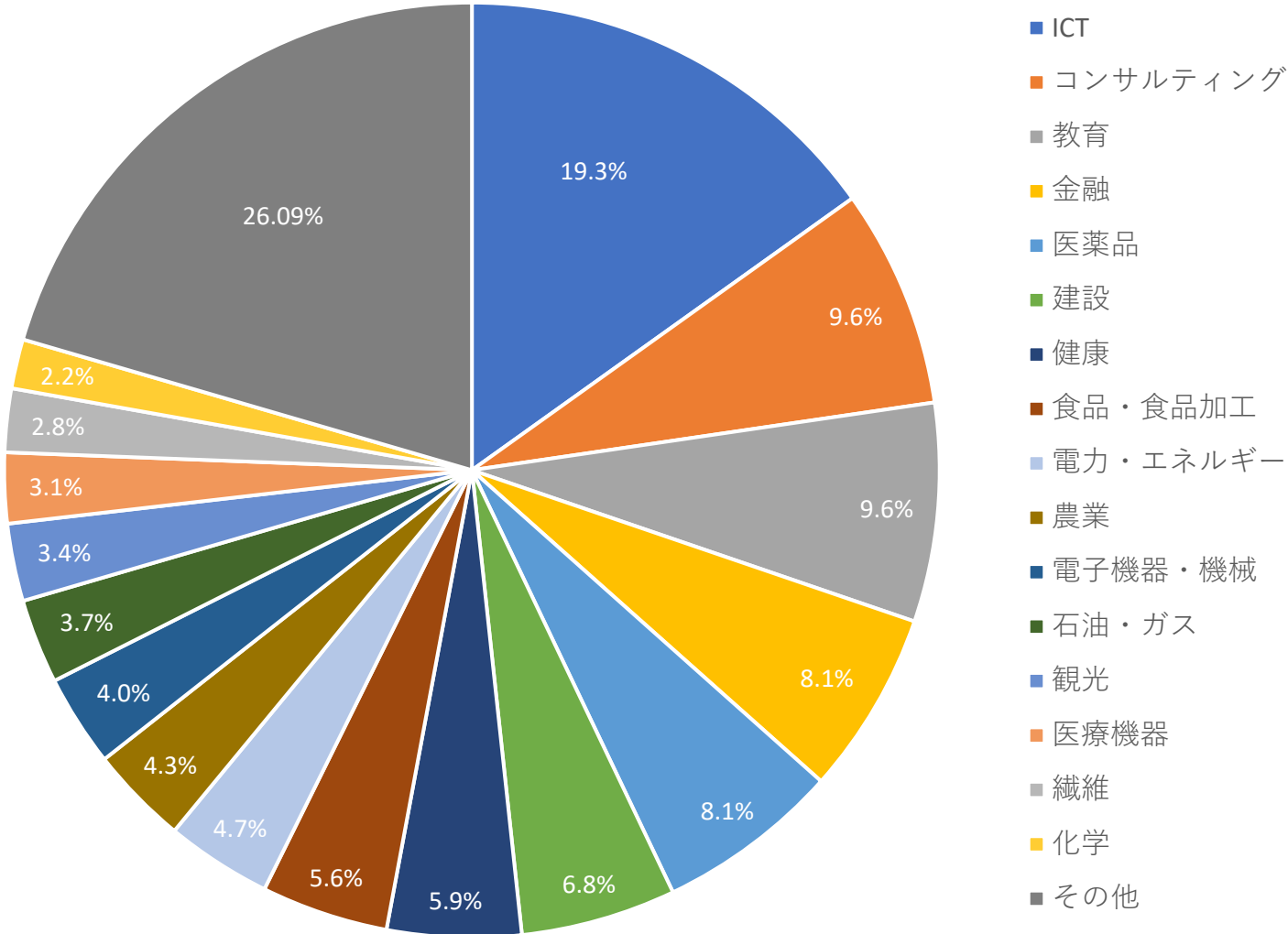


ビジネス及び日本語コース・イベント参加者（2024年末時点）



UJC卒業生の業界分布（2023年末時点、322件）

PMP卒業生にはウズベキスタンを代表する企業も多業種で複数おり、卒業生ネットワークはUJCの強み。



PMP卒業生が創業またはCEOを務める主なウズベキスタン企業

情報技術 (IT)



(タクシーライド)



(大手米IT企業タシケント拠点)



(ITソリューション)

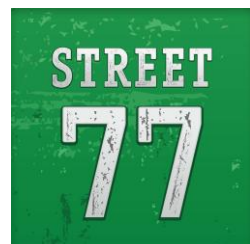
食品・飲食店



(洋菓子・カフェチェーン)



(子供向け食品)



(ファースト・フード)

建設・インフラ業



(タシケントシティー
'Nest One'ビル運営)



(不動産開発・販売)



(電力設備・送電)

その他



(パーソナルケア・衛生用品)



(ジム・スポーツ用品)



(Eラーニング・IT学校)



(家具製造・販売)



(印刷)



(PR・イベント運営)

UJCの日本語及び文化交流事業

日本語教育

- 日本語コース(初級 - 中級 - 上級)
- 年間累計タシケントで約600名、ブハラで200名が受講
- 日本語能力検定試験(JLPT)の実施
→**2024年のJLPT受験者数は1,600名(2022年比で倍増)**
- 日本語教師向け教育
- 日本語教材「いろどり」(日本での生活・就労向け教材)を用いた教育

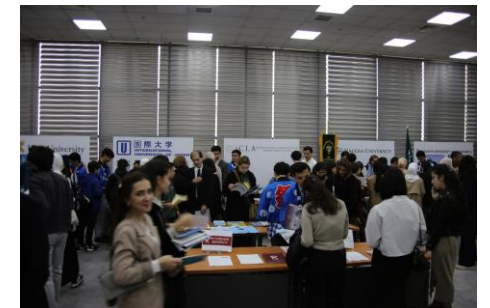
UJCの学生が、2024年3月2日にタシケントで行われた日本語弁論大会で優勝しました。



相互理解(文化交流)

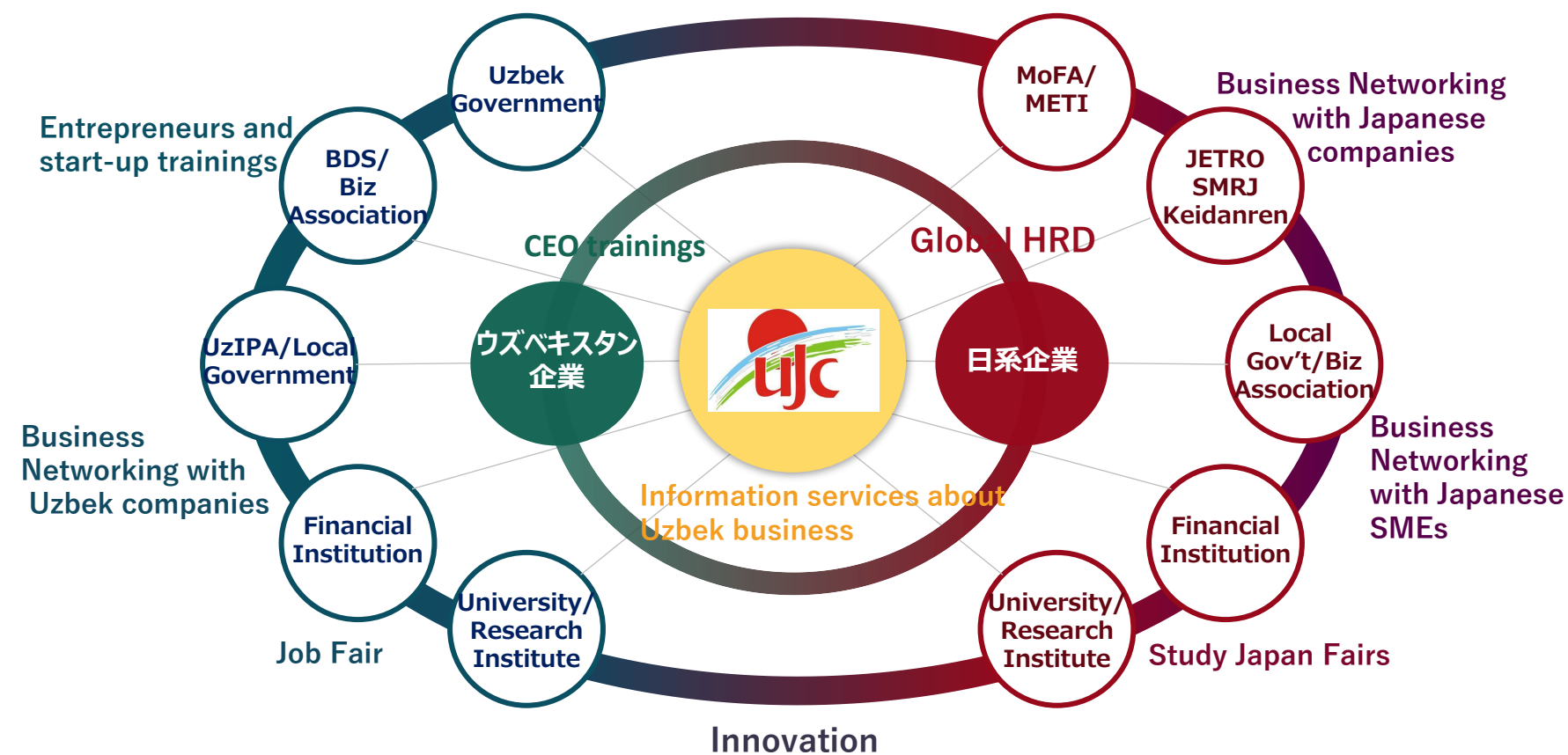
- 文化交流コース
(茶道、書道、折り紙などの日本文化コース。ウズベキスタンの伝統楽器ドタールの教室)
- **2023年より留学フェアを主催**
(2024年は9大学が日本より参加。タシケントとブハラ実施し、約1,200名が来場)
- 図書室
- その他文化交流イベント

日本留学フェア2024を名古屋大学及び筑波大学と共にタシケント及びブハラで開催しました。



日本とウズベキスタンを繋ぐプラットフォーム: 日本センター2.0構想

UJCは、ウズベキスタンと日本のあらゆる関係者(ビジネス、政府、教育機関等)を繋ぐプラットフォームとして、2国間の関係強化に資することを目指しています。



日本企業とUJC卒業生企業を繋ぐ取り組み

UJCでは様々な訪日研修を実施し、ウ・日企業間の関係強化に取り組んでいる。

1 経営塾本邦研修（1～4期生）

経営塾4期の参加者14名に対する日系企業視察、及びビジネス交流会を実施

- ・期間：2025年1月25日～2日5日（11日間）
- ・視察先：東京、静岡、大阪の企業
- ・ビジネス交流会：大阪商工会議所にて開催。
会場には日本側から61名が参加
（オンライン参加は23名）

2 分野別本邦研修（IT、食品分野）

IT：10名（UJC卒業生9名、ウIT Park職員1名）に対するIT分野に特化した日系企業視察やビジネス交流会を実施。帰国後にIT Park・UJC共催でビジネスコンファレンスを開催（IT PARK会場にて）。

- ・期間：2023年11月7日～18日（12日間）
- ・視察先：東京、大阪のIT企業

食品：UJC卒業生10名に対する食品分野に特化した日系企業視察、ビジネス交流会、FoodEx視察を実施。11月14日にビジネスコンファレンスを開催。

- ・期間：2024年9月17日～28日（12日間）
- ・視察先：東京、大阪の食品関連企業、FoodEx関西

3 個別企業向け本邦研修

Safia：菓子製造・販売のウ大手、Safia社経営陣19名に対して、日本の食品メーカーや、カイゼンの実務を視察する研修をアレンジ

- ・期間：2023年12月1日～11日（11日間）
- ・視察先：東京、名古屋、大阪、山梨、滋賀、埼玉の食品企業や大手メーカー

ハルク銀行・トラスト銀行：大手国営銀行のハルク銀行、及び民営のトラスト銀行の両行副頭取を含む15名に対して日系企業・邦銀・政府系銀行を視察する研修をアレンジ

- ・期間：2024年3月22日～4月1日（11日間）
- ・視察先：東京、名古屋、大阪のメーカー、銀行、政府団体、政府系銀行

【ビジネス交流会】



【IT Park会場でのビジネスコンファレンス（12/4）】



UJCによる日本企業向けサービスの一覧

ウズベキスタンでの主にUJC卒業生ネットワークを生かしたマッチング・商談支援（一部有料）

- 1) 初回相談：UJC常駐のJICA専門家によるウズベキスタンの現地事情やビジネス概況に関する情報提供（無料）
- 2) 個別ビジネス・マッチング：ご要望に応じて、ウズベキスタン企業から関心を募り、初回面談を調整（要相談）
- 3) 現地企業・工場視察：ウズベキスタン（ブハラを含む）における関連業種の現場、事務所の訪問をアレンジ（有料）
- 4) 現地での個別セミナーやビジネス交流会（オンライン含む）の開催・集客支援：日本企業が開催する新製品のマーケティング・広報、協業先開拓、人材採用、などを目的としたセミナー会場／オンラインセミナーのアレンジや集客を提供（有料）



日本での本邦研修・ビジネス交流会へのご参加（無料）

- 1) ビジネス交流会へのご参加：経営塾本邦研修や分野別研修に合わせてビジネス交流会を開催。事前面談のアレンジなどにも対応。
- 2) 日本企業・組織への視察お受入：経営塾本邦研修、分野別研修、個別企業向け研修におけるウズ側参加者による企業・組織視察の受け入れ（謝金規定あり）。



日本での就労機会を活用した産業人材育成プロジェクト（GROW）

- JICA（ウズベキスタン）が実施する「日本での就労機会を活用した産業人材育成プロジェクト（GROW）」では、日本での就労や留学に関する適切な情報が纏まったウェブサイト「Japan Career Portal」を設置しています。
- Japan Career Portal は、日本就労・留学を目指す、または現に日本で就労・留学しているウズベキスタン人に向けて、日本での就労、留学、生活に関する適切な情報を提供しています。更に、日本の企業等の関係者に向けて、ウズベキスタン人材等についての情報や、日本で活躍するウズベキスタン人の体験談などを紹介しています。

Japan Career Portal



（日本語）

（Japan Career Portal からの抜粋）



GROW
プロジェクト
目的

日本での適正な就労を通じて自身の知識・スキルを向上させ、キャリア形成をしていくこと、

日本で得たスキルを活かして帰国後に産業・発展に貢献する人材（還流人材）になること、を後押しします。

GROWのミッション



Mission 1 適切な情報発信

JAPAN CAREER PORTALを通じて、ウズベキスタン人が日本でのキャリア形成に関する正確な情報を、日本人がウズベキスタンの人々や社会についてよりよく知ることができる情報を発信します。それにより、ウズベキスタン人が納得感を持って、日本への就労ルートの選択及びキャリア形成ができるようになります。



Mission 2 派遣前人材育成体制の強化

日本での適切な就労・キャリア形成が実現されるように、日本・ウズベキスタン双方の関係機関のネットワーク強化を通じて、ウズベキスタンの日本語教育機関、職業訓練施設、送出機関等の人材育成体制の強化を支援します。



Mission 3 ウズベキスタンでの特定技能試験の職種拡大

現在、介護・農業・建設のみウズベキスタンで特定技能の試験を受けることができます。日本でのキャリア形成の機会拡大のため、日本・ウズベキスタン両国で人材需要が高い宿泊・外食その他の分野の現地試験が実施されるよう支援します。



Mission 4 帰国人材の支援 ～日本就労試験のブランド化

日本での就労経験をウズベキスタン労働市場においてブランド化すること、日本・ウズベキスタンの企業が共有できるスキル評価の仕組みづくりなどを通じて、ウズベキスタンに帰国した人材が母国でもキャリア形成できるような仕組みをつくります。

日本の体験談



「体験談」では日本で就労・留学・その他の活動に従事しているウズベキスタンの方々のキャリア形成や日本で得た知識や経験を日本就労希望者へ発信していきます。先輩方のチャレンジ、困難や苦労を知ることで各自が自分に合った進路を選び、成長して欲しいと考えています。また、ウズベキスタンで活躍している日本人・日本企業やウズベキスタン人材を受け入れている日本企業も紹介していきます。

お役立ち情報

すべて

インタビュー

技能実習・特定技能

高度人材

留学

ビジネス

その他



STANOR VIZADAN YUQORI MALAKALI KADR DARAJASIGA
CHIQISH UCHUN E'TIBOR BERICSH KERAK BO'LGAN JIHATLAR
YAKIN TIL VA MATHAB SHARHINI MUVAFOQLASHTIRISH

技能実習生から高度人材へ移行するために注意...

[詳細 >>](#)



農業分野で技能実習から特定技能1号を取得し...

[詳細 >>](#)



豊田通商で活躍する先輩！

[詳細 >>](#)



ご清聴ありがとうございました。



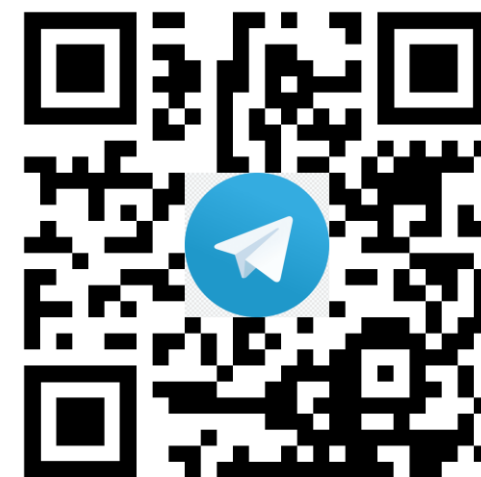
ウェブサイト



インスタグラム



フェイスブック



テレグラム